

国際交流つうしん

国際交流つうしん100号を記念して

(公財) ちば国際コンベンションビューロー
代表理事 佐藤忠信



このたび、「国際交流つうしん」は100号を発行する運びとなりました。会員の皆さまをはじめ、国際交流団体、県・市町村その他多くの方々のご協力とご支援に心より感謝申し上げます。
国は観光を「地方創生」の切り札、成長戦略の柱として位置付け、真に世界に開かれた「観光先進国」への歩みを着実に進めてきています。

また、入管法の改正により、新たな在留資格による外国人労働者の受け入れも始まり、当センターでも外国人相談業務を13言語に対応させるとともに、日本語ボランティアを養成する講座等も拡充してきました。

そして、東京2020オリンピック・パラリンピックでは千葉県でも8競技が実施される予定です。当センターで実施した「通訳ボランティア養成講座」を受講した方の中からは、すでに国際スポーツ大会のサポート役として活躍される方も多くいらっしゃいます。

また、昨年開催されたラグビー・ワールドカップ2019では、日本の代表チームは、外国出身の選手たちとともに「ONE TEAM (ワンチーム)」として素晴らしい活躍を見せてくれました。そして、その選手たちを全力で応援するサポーターたちと一体となった姿こそ、多文化共生の象徴そのものだったのではないのでしょうか。

今後益々「多文化共生社会づくり」への志気は、高まっていくことでしょう。

国際交流センターは、関係機関との連携を図りながら、継続的な千葉県の多文化共生社会の実現に向けて、国際交流・協力推進事業を展開して参ります。今後も「国際交流つうしん」が皆様にとって有用な情報源として活用されるよう、皆様の一層のご支援をお願い致します。



発電機を使って洗濯する女性
(p3. ちば出前講座「モンゴルってどんな国?」)

目次

- P.2 千葉県開催のオリンピック競技
～レスリング
- P.3 【ちば出前講座】
～「モンゴルってどんな国?」
- P.4～5 事業報告(令和元年11月～令和2年2月)
- P.6 令和2年度事業計画
あなたの街の国際交流・協力団体
～千葉市国際交流協会～
- P.7 JICA 千葉デスクのページ
- P.8 世界からようこそ千葉県へ
～キューバ共和国～

広告

水野外語学院

日本語で日本語を勉強します。
いろいろな国の人と

一緒に勉強します。

赤ちゃんが言葉を覚えるように、
楽しく、自然に日本語が話せるようになります。



MIZUNO GAIGO GAKUIN

〒272-0133 千葉縣市川市行徳駅前4-19-14
TEL: 047-397-9645 FAX: 047-397-3078

広告

地域日本語教室の学習者と支援者をつなぐ
『いっぽにほんごさんぽ暮らしのにほんご教室』シリーズ



新装版 いっぽにほんごさんぽ
暮らしのにほんご教室 初級1

にほんごの会企業組合・宿谷和子・天坊千明 著
本体2,400円+税 B5判

地域の日本語学習者、支援者のみなさんが、
1歩、2歩、3歩...
学びと支援に踏み出せるよう作成された
初級総合教科書です。
『初級2』『初級3』も好評発売中。

スリーエーネットワーク 最新刊や教材の使い方セミナーの情報は
☞ <https://www.3anet.co.jp/>

千葉県開催のオリンピック競技 レスリング



東京2020大会において千葉県で開催される予定の人気種目・レスリング。公益財団法人日本レスリング協会の斎藤 修さんは、国際レスリング連盟審判委員会のインストラクターとして、世界各国の大会が公正・公平なルールのもと適正に運営されるよう日々、審判員の管理・指導にあたられています。今回は斎藤さんにレスリングのルールと見どころをわかりやすく解説していただき、ご自身の活動についても、お話をいただきました。

レスリングのルールと見どころ

【基本ルール】レスリングの試合では、直径9メートルの円の中に2人の選手が向かい合わせになってプレーします。レスリングはその円の中で相手を倒してポイントをとるスポーツです。加点ポイントは、①相手のバックに回ったら2点②スタンドポジションから投げたら4点③場外に出たら1点を失う。試合が終了時により多くポイントを取った選手の勝ちです。また、相手の両肩を1秒間マットにつけることを「フォール」とよび、即試合終了となります。レスリングにはフリースタイル（男子・女子）とグレコローマン（男子のみ）の2種類があり、フリースタイルは、全身を使った攻防で10点差がついたら試合終了、グレコローマンは上半身のみ、8点差で試合終了となります。



【アクティブレスリングの徹底】レスリングの人気の高まるにつれ、競技ルールも徐々に観客へのパフォーマンス重視に変わってきました。そのため、レフェリーは消極的なレスラーを摘発する必要があります。ディフェンスレスリングを繰り返すと40秒おきに「パッシブ」と呼ばれる口頭注意をします。試合時間は「3分2ピリオド」で30秒のインターバルなので、両選手のどちらかが2分以内にポイントを取らなければならないことになります。

レフェリーはつらいよ!?



【レフェリーの現実】私はレスラーを引退後、北京、ロンドン、リオデジャネイロオリンピックをはじめ、さまざまな国際大会で審判員として活動してきました。一方で高校での教員を務める身でもありましたので、いつも休暇を取って活動していました。本業とされている方もいらっしゃいますが、レフェリーにも選考がありますから、いつでも活動が保障されているわけではありません。東京2020大会に向けてはすでに世界各国から70名のエントリーがあります。5月中旬以降にブルガリアで開催が予定されている世界大会最終予選では、選手はもちろんですが、レフェリーもその技術を競いあい、最終的に50名が東京2020大会で笛を吹くレフェリーとして選出されます。

【選手泣かせの計量】レフェリーの役割の1つとして、選手の計量チェックがあります。これまでは前日計量でしたので、計量後試合が始まるまでの間に選手たちは食事をすることができました。前日計量だと10kg以上の減量する選手や、大会日（計量日の翌日）に5kgも6kgも体重を増やしてしまう選手があり、公平性にかけることから、当日に計量を行い1時間30分後に試合を開始するというルールに変更されました。同時に過酷な減量をさせない事から、試合期間中に計量することになりました。選手にとっては、ハードな試合後に食事満足に取れないことになりますが、たとえ50グラムでもオーバーしたら即失格です。ゲッソリした選手たちの朝計量にオーバー通告…レフェリーにとってもつらい時間なのです。

【判断ミスの代償】選手同様、審判もジャッジを誤るとペナルティが課されます。そして、微妙なジャッジで観客からの厳しいブーイングを浴びせられることも…。先日の某大会では、相手の足を踏んでタックルをして勝利した選手の反則を見抜けなかった審判員数名が、資格停止処分となりました。「見落とした…」では許されないのは、両選手がマットを降りてしまった後でどんな不正が発覚しても覆すことができないからです。選手のマット内での動きを時間内に正しく判定しなければならないことこそ、レフェリーの最大の重責です。

～レスリングを応援してくださる千葉県の皆様へ～

東京2020大会では、「マットチェアマン」と呼ばれる審判管理及び大会コントロール役として、大会を運営して参ります。ボランティアとして活動される皆さんには世界からの関係者や選手たちをサポートしていただき、「ゲーム・メーカー」として、大会を盛り上げて頂きたいと思ひます。



レスリング大会情報（観戦無料）



4月11日（土）・12日（日）JOC杯ジュニアクィーンズカップ @駒沢体育館
4月25日（土）・26日（日）JOCジュニアオリンピックカップ @横浜文化体育館
詳細及び実施状況については、公益財団法人 日本レスリング協会HPにてご確認ください！

日本レスリング協会

検索

【ちば出前講座】 モンゴルってどんな国？

千葉県国際交流センターでは、JICAボランティア経験者及び、日本に暮らす外国の方々を講師として千葉県の学校や公民館等の様々な施設へ講師として紹介し、多文化理解、国際交流、国際協力の大切さを知って頂く「ちば出前講座」を実施しています。



千葉県生涯大学校京葉学園（千葉市中央区）にて、講演をしてくださったのは、内モンゴル自治区出身のアラタン・ホヤガさん。アラタン氏は来日後、貿易の仕事をしていましたが、好きな写真を専門に学ぶことを決意し専門学校へ入学。卒業後はカメラマンとして、人々の生活を表現する写真やモンゴルの砂漠化や伝統文化の継承、環境問題等をテーマとした写真を通じて、モンゴルを伝える活動をされています。今回は撮影から学ぶ「故郷・内モンゴルの消えゆく遊牧文化」について講演をして頂き、受講者の皆さんからの質問には、2019年1月までJICA海外協力隊としてモンゴルのウランバートル市でテニスの指導・普及に携わっていた、JICA千葉デスクの安達夏美さんが、アラタン氏とともに、それぞれの視点で回答しました。

Q.数ある国の中から、どうして日本を留学先として選んだのですか？

アラタン氏：小さい頃から日本が身近な国としてあったので、留学先を選びました。周りに日本に好感を持つ人も多かったですし、当時、モンゴル研究において日本は世界をリードしていたこともあります。

安達氏：確かに、ウランバートル市内にも多くの日本語学校がありますね。私立の学校では、第二言語を日本語として教える学校も増えてきています。人口に対する割合としては、日本への留学生が最も多い国がモンゴルと言われています。大相撲力士が引退すると、モンゴルに戻ってきて日本語学校や日本式の学校を設立することが多いですね。

アラタン氏：そうですね。あとは幼い頃、モンゴル語やモンゴルの文化を研究していた父の元に日本人の研究者が訪れてくれたことも影響したと思います。当時、多くのモンゴル人は日本に対して好感を持っていて、内モンゴルにおいても親日の人が多かったです。



Q.遊牧民にとって当たり前のことかと思いますが、羊を屠る光景を子どもたちに見せるのは、とても残酷な行為だと感じました。

アラタン氏：我々にとって家畜は生活の基盤であり、家畜と共に生き、家畜の肉、毛皮を頂くことで厳しい自然を生き延びます。その光景を幼いころから見ることで、自然と遊牧民になるための準備ができていくのだと思います。実践的に代々受け継がれていくのです。

Q.オリンピックに出場する内モンゴル自治区の選手は、モンゴル国籍・中国国籍どちらで出場するのでしょうか。

安達氏：オリンピック出場は中国国籍の印象がありますね。そういえば内モンゴルにはモンゴル語を話す人もいれば、中国語を話す人もいますね。

アラタン氏：はい、中国国籍として出場します。しかし、アイデンティティーとしては中国人でも内モンゴル人でもありません。国籍は異なりますが、私達はモンゴル民族であると皆認識しています。



新型コロナウイルスについての情報



千葉県国際交流センターでは、新型コロナウイルス感染症についての情報を多言語で随時発信しています。お近くの外国の方へ情報をシェアしていただきますよう、お願い致します。



CCBIC

検索



千葉県国際交流センター

新型コロナウイルスについての情報を入手できます。最新情報を入手の上、感染防止に努めましょう。



千葉県



自治体国際化協会
多文化共生ポータルサイト

◆コミュニティ通訳研修 11月1日・8日・22日・29日

地域に住む外国の方が困っている時、手を差し伸べ「言葉」の手伝いをするために、まず私たち自身が法律や制度の「知識」を理解しておくことが大切です。その「知識」を習得するために、特に外国人が日常生活で直面する問題について、専門家を招き4回のシリーズで学びました。また「言葉」については、テーマ毎に用意されたロールプレイを通して、得意な外国語ややさしい日本語の表現を練習しました。

基礎編 1. 在留管理制度の基礎知識【11月29日】 2. 涉外戸籍の基礎知識（結婚・離婚・出生等）【11月1日】
応用編 3. 日本の社会保険・労働保険制度について【11月8日】 4. 外国人のメンタルヘルスについて【11月22日】



◆災害時外国人サポーター養成講座 市町村職員向け：11月7日@千葉市 ボランティア向け：7月6日@野田市 2月1日@佐倉市

これまで年に1回実施していたこの講座を、今年度は3回に増やし、千葉県や野田会場では野田市、野田市国際交流協会と、佐倉会場では佐倉市、佐倉国際交流基金と共催で実施しました。野田市と佐倉市では、ボランティアの方向けに、千葉市では市町村職員向けに、それぞれやさしい日本語の講座や災害時多言語支援センターの設置・運営訓練、避難所巡回訓練などを行いました。参加者からは、「実践に近い訓練だった」、「発災時には、安心・安全なサポートをしたい」などの感想が寄せられました。



◆日本語ボランティア・スキルアップ講座 11月17日@千葉市 12月13日@印西市

地域で日本語学習支援活動を行っているボランティアの方々を対象に、日本語教育の専門知識・現場体験が豊富な頼田敦子先生（児童対象）、宿谷和子先生（成人対象）にご指導いただきました。児童対象の講義では、「どのような点でつまずくのか、指導法もわかった」、「個性を見極めてゆっくり続けていくことの大切さを確認できた」などの意見が寄せられました。成人対象の講義では、「導入を実践してくださった部分が印象的だった。楽しいレッスンになるよう心掛けたい」、「イラストを多く使い、本人に説明させる方法を実行しようと思う」などの感想が寄せられ、両講座合わせて約90名が参加しました。



◆ちば出前講座 講師意見交換会 11月23日

ちば出前講座で外国人講師として登録のある7名の方々にお集まりいただき、講座をより発展させ、多文化共生のニーズに合わせていくにはどのような工夫が必要か、意見交換を行いました。出身国の言葉での挨拶や簡単なゲーム等を体験してお互いの距離を縮め、似ている点、違う点について考えること、また様々な情報に溢れる今こそ、中立の立場で客観的に出身国のことを伝えていく大切さなどが提起されました。意見交換後は、それぞれ持ち帰った品でのポットラックパーティで食事を楽しみながら、講師間の交流を深めました。



◆日本語ボランティア基礎講座@千葉市 11月30日・12月7日・14日・21日

日本語ボランティアをこれから始めたい方、ボランティア初心者の方を対象に、県内の各地域で養成講座を毎年実施しています。日本語教育の概要と外国人の相談案件についての説明、フィリピン、モロッコ出身の学習者による講演に加え、日本語学習支援についての基礎的な知識、日本語教室の先進事例、教科につながる日本語の支援について学びました。実際に活動している日本語教室からボランティア募集案内もありました。受講者からは、「やさしい日本語にすること、視覚化することでわかりやすい日本語にすることができるのだと実感した」、「教科の日本語の難しさを知ることができた」など、今後の活動につながる感想が寄せられました。



◆ジェトロ・アジア経済研究所 ホームステイ 11月16～17・11月23～24日

「一期一会」という言葉がピッタリなホストファミリー体験となりました。ラオスからの研修生と過ごした時間は、私達に沢山の学びや気付きを与えてくれました。自然体な彼女の佇まいは、私達の緊張を解いてくれました。一緒に食事の準備をしたり、娘へ絵本を読んでもくれたりと、私達の家庭生活に積極的に関わってくれました。言葉の壁を超え、お互いを尊重し、心を通わせる事ができた素晴らしい経験となりました。～コブチャイ～
(ホストファミリーボランティア 古城あやさん)



◆チーバくん大使 お正月ホームビジット 1月2日

チーバくん大使のグエン・チュン・ミン・ユンさんがホストファミリーボランティアの今関さん宅でお正月を一緒に過ごしました。芝山仁王尊で初詣と鐘つきをして、おみくじで大吉を引いたユンさんは、とても嬉しそうだったそうです。それから初日の出が見られる海岸に寄り、今関さんの自宅へ。お節料理とお雑煮を囲んで、日本とベトナムの話で盛り上がり、歌を歌ったりして、楽しい時間を過ごされました。ユンさんが準備したベトナムのお正月料理も好評だったようです。ホストファミリーボランティアとして活動された今関さん、ありがとうございました！



ボランティア活動報告～みなさん、ありがとうございました!～

◆千葉県公立高等学校入学者選抜「他都道府県及び海外等からの入学志願手続きの説明会」 11月21日・12月2日

他都道府県及び海外等から千葉県公立高等学校を志願する方のための入学志願手続の説明会が、千葉県教育会館で行われました。当センターの中国語、英語、フィリピン語、スペイン語のボランティアの方々7名が、外国出身の参加者に対し、説明内容の逐次通訳、説明会開始前の受付及び終了後の個別相談においては、参加者と説明会担当者間の通訳サポートを行いました。

◆第30回国際会議海外キーパーソン招請事業 (Meet Japan) 12月10～11日

日本政府観光局 (JNTO) が主催するMeet Japanにおいて、フランス、カメルーン、イギリス、カナダから国際会議の開催地決定に権限を持つキーパーソン4名と随行者1名が参加し、県内観光地の視察で開催地としての魅力を伝えるとともに、千葉県の産業、教育、研究機関の代表者による歓迎夕食会が行われました。当センターの語学ボランティアの方々2名にご協力頂き、夕食会での通訳として活動して頂きました。



◆WORLD CROSSE @浦安市 11月15日・16日

世界最高峰のリーグを代表する米国トップクラスのラクロスプレイヤーたちが今年も浦安に集結。迎え撃つ日本を代表する選手たちと世界レベルの大会が行われました。大会前日には男子アメリカチームの選手たちが浦安市内の中学校を訪問し、一緒にラクロスを楽しんだり、給食を食べるなどして交流しました。当センターの語学ボランティアの方々が、交流時のサポート役として活動し、大会中は男女2チームのチーム付通訳として選手たちをアシストしました。



◆NOMURA WOMEN'S WORLD SUPER6 11月13～17日

女子シッティングバレーボールの国際大会が、台東リバーサイドスポーツセンターで、東京パラリンピックのテストイベントも兼ねて開催され、アメリカ、ロシア、ウクライナ、日本の4チームが参加しました。期間中5名の語学ボランティアの方々が英語、ロシア語で外国チームのコミュニケーションサポートやIDカードのチェック、「シャペロン」と呼ばれるドーピング検査の見張り役などの業務にあたりました。



◆2019IBSAゴールボール アジアパシフィック選手権大会 in 千葉 12月2～10日

12月2日より千葉ポートアリーナで開催された2019 IBSAで、当センターのボランティア41名の方々が、チーム付き通訳サポート、選手コール、来場者受付、メディア受付、IDカードチェック、シャペロンなど様々なポジションで活動されました。ボランティア経験を重ね、慣れた様子で運営サポートにあたるボランティアの方々は、競技団体から一目おかれる存在。パラリンピックの大会ボランティアでゴールボールを希望する方もいて、今後の活躍が益々期待されます。



◆長柄町 ロシア文化交流会 12月19日

ロシア・フェンシングチームのホストタウンとなっている長柄町が、オリンピック・パラリンピックに向けて、子供たちにフェンシング競技への理解を深め、ロシアについて知ってもらうイベントを町内小学校2か所で開催し、ちば出前講座の講師として活動するロシア出身の猿谷ナディアさんと、千葉大学の留学生が、ロシアについて子供たちに紹介しました。子供たちはロシア語で挨拶をしたり、「だるまさんがころんだ」によく似たロシアアンゲームと一緒に楽しむなどして、留学生たちと交流しました。ロシア語ボランティア2名の方々も応援にかけつけてくださいました。



ちば出前講座 外国人講師の方々が千葉県主催のモニターツアーなどのイベントに参加しました!

グローバルミーティング

11/16 (土) 千葉市商工会議所

留学生が将来日本で働くことについて知ってもらうためのイベントに、日本で就業経験のある外国人講師6名がアドバイザーとして参加しました。



ボランティアトライアル

12/14 (土) 神田外語大学

高校生・大学生が外国出身の方々をおもてなしするイベントに8名の外国人講師が参加し、日本文化を体験しました。



香取市モニターツアー

1/30 (木) 道の駅「こうざき」

ちば出前講座の登録講師12名が、地域の特産品を使用したみそ玉づくり、醤油ドレッシング作り体験を楽しみました。



びわ・かんきつ園交流促進

モニターツアー

2/13 (木) ～14 (金)

菜の花摘みや、観光みかん狩り園にて収穫作業などを体験しました。



千葉県国際交流センター 令和2年度事業計画

事業	内容	時期(予定)
国際交流ボランティア制度	語学、ホストファミリー、文化、事業、日本語の各ボランティアの登録・紹介	随時
国際交流・協力等ネットワーク会議	民間交流団体や市町村国際交流協会担当者による情報交換	年1回
外国人相談担当者意見交換会	県内の外国人相談担当者向けの講演、情報交換	7月
ホームページによる情報提供	在住外国人の生活情報やセンター事業等について発信(日・英・中・西・やさしい日本語)	随時
FACEBOOK による情報発信	ボランティア活動情報、イベント情報、災害時等多言語情報などを発信	随時
会報「国際交流つうしん」の発行	当センターの事業及び県内民間団体の活動等を紹介する会報の発行	7,11,3月
「国際交流伝言板」の発信	国際交流イベントや募集事業をホームページ等で紹介(日・英・中・西)	随時
千葉県外国人相談事業	在住外国人の電話・来所による生活相談への対応(13言語)	月～金
外国人のための無料法律相談	外国人の生活上の法的問題に弁護士、行政書士が対応、通訳手配も可(原則第1月曜 行政書士は奇数月)	毎月
災害時外国人サポーター養成講座	災害時に外国人をサポートする人材を育成する講座を開催	年3回
ちば出前講座	在住外国人・JICAボランティアOB/OG等を団体や学校等に講師として紹介	随時
国際フェスタ CHIBA	国際交流・協力団体の活動成果を展示等により、広く県民に広報	年1回
国際理解セミナー	県民に広く、国際理解を図る講座を開催	6～1月
日本語ボランティア基礎講座	日本語ボランティアについての基礎的な知識を学ぶ講座	7月以降
日本語ボランティア・スキルアップ講座	日本語ボランティアが日本語指導の向上を図る講座	7月以降
日本語ボランティアの集い	外国人児童に対する日本語ボランティア向けの講座及び参加者間の情報交換	年1回
コミュニティ通訳研修	在住外国人の生活支援に役立つ基礎知識を学び、語学の向上を図る講座	10～12月
(仮)語学ボランティア講座	MICE関連事業やスポーツ大会等のボランティア活動について学ぶ講座	年1回



通訳ボランティア養成講座が令和元年度で終了しました！

東京オリンピック・パラリンピックを見据え、平成27年度から継続して実施しておりました講座が今年度にて終了しました。令和2年度は新たな語学ボランティア向けの講座を実施する予定です。詳細は4月以降ホームページにてお知らせします。



あなたの街の国際交流・協力団体

公益財団法人千葉市国際交流協会

千葉市には、令和元年12月末現在で約2万8千人の外国人の方が暮らしています。千葉市国際交流協会は、千葉市に住んでいる外国人のサポートを主体として活動している団体です。当協会では、外国人の方が日本語を話せるよう、授業形式のクラスを開催しているほか、ボランティアの方に「日本語交流員」になっていただき、千葉市国際交流協会が紹介する外国人の方と【生きた日本語】で会話をしてもらっています。日本にいながら、外国人の友達ができるという魅力あるボランティア活動です。

「日本語交流員」としてボランティア活動を希望される方は、下記をご覧ください、お申込みください。

場 所：千葉市国際交流協会（プラザ） ※住所等は末尾参照
時 間：午前9時から午後8時（土曜日は5時まで） ※日曜、祝日休館
登 録：千葉市国際交流協会の窓口にて
※運転免許証等の身分証明書をお持ちください。



また、当協会では、7つある千葉市の姉妹友好都市のうち、3つの都市と、夏休みを利用してお互いの街を訪問する青少年交流事業を行っています。毎年4月初旬にホームページに応募方法を掲載していますので、ご家族やお知り合いに、ご紹介いただくと幸いです。

カナダ・ノースバンクーバー市（高校生、毎年）
アメリカ・ヒューストン市（中学生、隔年）
スイス・モントルー市（16～25才、隔年）

外国語を話せるスタッフによる生活相談や、弁護士・社会保険労務士による法律・労働相談も実施しています。千葉市国際交流協会（プラザ）は、出入国在留管理局（入管）千葉出張所と同じ建物にありますので、お知り合いの外国人の方に、ぜひご紹介ください。

千葉市国際交流協会は、「千葉県国際交流センター」と力を合わせて、外国人の方が千葉県、千葉市に愛着を持って暮らしてもらえるよう事業を進めて参ります。

ホームページ <http://www.ccia-chiba.or.jp/> 千葉市中央区千葉港2-1（千葉中央コミュニティセンター2階）
TEL：043-245-5750 FAX：043-245-5751 千葉都市モノレール「市役所前」駅直結

スポーツ × SDGsイベントの開催 12/7(土)

浦安市を本拠地とするNTTコミュニケーションズシャイニングアークス様ご協力のもとで、「ラグビーを通じてSDGs(※)を学ぼう!」と題したイベントがアークス浦安パークにて開催されました。

このイベントは、スポーツを通じてSDGsを身近なものに感じてもらう、そしてSDGsを「ジブンゴト」として捉えてもらうために開催されたイベントです。



千葉県国際交流センターの語学ボランティアの方による通訳

左: ヴィリー・ブリッツ選手 右: シェーン・ゲイツ選手

当日は、JICA東京によるクイズで学ぶSDGs勉強会や、キルギス共和国でラグビーの普及・指導に携わっていた元JICA海外協力隊の久留米さんによる、「スポーツでの国際協力」出前講座がありました。

イベントの後半では、シャイニングアークス所属で、南アフリカ共和国出身のヴィリー・ブリッツ選手と、シェーン・ゲイツ選手にも参加して頂き、在住外国人として考える、「日本の良いところ」「日本に来て大変だったこと」等をテーマに、パネルトークをして頂きました。大人気の選手登場に、会場は大盛り上がり!

「日本人はとても優しく、いつも支えられています。しかし、言葉が通じないこともあるので、日本語の勉強を始めないといけないと思っています。」と話すヴィリー・ブリッツ選手。千葉県に暮らす在住外国人の中には、言葉や文化、習慣の違いから、様々なところでとまどいを感じている方がたくさんいます。JICA千葉デスクは、今後も「スポーツ×SDGs」をキーワードに、千葉県の多文化共生の推進に向けて取り組んでいきます。

※SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは?

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年

までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

(外務省HP参照)





世界からようこそ千葉県へ!

キューバ共和国



※外務省ホームページより引用

キューバ出身のバエズ ロドリゲス アレハンドロ セサルさんは、千葉大学で建築を学んでいます。勉強の傍ら、日本の学生に出身国・キューバについての紹介や、日本での異文化体験談をお話するボランティアとしても、活動中です。

キューバについて

キューバは中米のカリブ海諸国の中でも最も大きな島国です。スペイン植民地時代の幾多の歴史と文化を継承しながら、アフリカの色調も取り込みつつ、その他中国やロシア等の文化の影響も受けてきました。人口は約1,100万人で、先住者から受け継いだ豊かな



伝統を育んでいます。1642年にクリストファー・コロムブスによって発見されて以来、世界的に注目を浴びたいろいろな歴史的出来事に遭遇してきました。例えば、キューバはラテンアメリカ諸国で一番先に鉄道、車とテレビが導入されました。また、上質なタバコやラム酒の産地で、広く世界にその名を馳せています。国際的に優秀なスポーツ選手も輩出しています。小さな島国ではありますが強力な野球チームを擁し、ボクシングではオリンピックやその他の大会で優れた成果をあげ、女子柔道では日本を制しました。

キューバでは、健康と教育に関するサービスはすべて無料です。社会主義体制下でありながら、平和な生活環境で、その治安の良さは日本に匹敵するほどです。人々はフレンドリーでホスピタリティにあふれ、まるで皆家族のようです。

キューバの自然と建築物

キューバのオーシャンビーチは、水の純度を表す美しい

色で、熱帯の太陽とともに国土全体に広がっています。この豊かな自然の中では、現存する化石と考えられて



いるキューバの「ガー」という魚や、愛らしく面白い体形をしたネズミ科の「キューバ・ソレノドン」や「フティアス」など、とても珍しい生物が生息しています。



キューバの建築物も素晴らしく、300年以上前に海賊や外国からの攻撃から身を守るために建てられた城塞が、ハバナの旧市街や、サンティアゴ・デ・キューバの街全体に完全な状態で残されています。

そして深いルーツで培われた音楽、ダンス、笑顔と一体化してユニークな都市景観を呈しています。人々はキューバという国を誇りに思っています。世界に向けてキューバを発信できることは、大きな喜びです。

キューバの人々と音楽

キューバの人々にとって音楽は特別なものです。人間の「第六感」のように身体の一部でもあり、身体中から湧き上がる熱い情熱のように感じるができます。だからこそ、私たちのダンスの動きはセクシーで魅惑的なのです。国の首都・ハバナを歩くと、伝統に裏打ちされたアンティークな雰囲気を感じるとともに、バーでは、モヒート、ピナ・コラーダ、キューバ・リブレなど、キューバの飲み物を楽しむことができます。とても面白いことに、そこでは1940年代、1950年代のシボレーやフォードなど、アメリカのクラシックカーを見ることができるのです。

キューバには、ユネスコ世界遺産として9カ所が登録されています。ハバナ旧市街、ビニャレス渓谷、アレハンドロ・デ・フンボルト国立公園、トリニダードなどはおすすめです。キューバに行かれたらぜひ足を運んでみてください。



広告

入管手続きは行政書士にお任せ下さい。

申請取次行政書士に申請依頼をすると、申請人本人は**出入国在留管理局への出頭が免除**されるので、**仕事や学業に専念**することが可能です。

お問い合わせは…



千葉県行政書士会

www.chiba-gyosei.or.jp/



〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4丁目13番10号
TEL: 043-227-8009 FAX: 043-225-8634



公益財団法人 ちば国際コンベンションビューロー 千葉県国際交流センター

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14F
TEL: 043-297-0245 FAX: 043-297-2753 E-mail: ied@ccb.or.jp

<https://www.mcic.or.jp/へgo!>

センター事業の紹介、最新ニュース、講座やイベントなど役立つ情報を掲載。

年3回発行
(7,11,3月)